

定例公安委員会の開催状況について

令和2年1月23日（木）に、第3回定例山形県公安委員会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

1 2月の行事予定

本年2月の行事予定について報告があった。

2 令和元年における苦情取扱状況について

令和元年における苦情取扱状況について報告があった。

委員のコメント

- 警察官は関心を集める職業であることから、細かい部分に関しても苦情が多いような印象がある。苦情には一つ一つ丁寧に対応してほしい。
- 苦情の件数が減少したのは、規範意識が向上した結果であると思うが、苦情が全くなくなったということではないことから、指導教養は継続してほしい。苦情は警察に対する期待の表れだと思うので、苦情から得られた教訓を業務改善に生かしてほしい。
- 『言葉遣い・態度』に関する苦情が多いという傾向に変化がないが、県警察には過去に徹底的な指導によって苦情の件数を減少させたこともある。警察官の中には、一種の特権意識を持っている者もいると懸念されることから、警察署長自ら日常的に指導教養してほしい。

3 令和元年度第3四半期等における監察実施状況等について

令和元年度第3四半期等における監察実施状況等について報告があった。

委員のコメント

- 監察をこまめに継続して実施することによって、受監していない者にも指導内容等が伝わるようにしてほしい。
- 報告内容を聞いて、警察の内部監察は丁寧に行われていると感じた。東北管区警察局や警察庁の監察でいただいた指導は適切であるから、是非実行して、より適正な勤務ができるようにしてほしい。
- 警察職員には、警察学校の指導教養の段階で、各種ハラスメントや不適切交際の防止を図ってほしい。

4 運輸関係4団体との交通事故抑止に向けた覚書締結について

バスやタクシー、トラック等運輸関係団体と連携し、プロ（職業）ドライバーによる模範運転を示すことで、一般ドライバーに対する安全意識の高揚と交通法規遵守の浸透を図り、健全な交通環境の構築と路上の人倒れや徘徊老人を発見した際の早期通

報による交通事故の未然防止を目指すことなどを目的とし、本年1月23日、運輸関係4団体との覚書を締結することについて報告があった。

委員のコメント

- 普段は優先的に公道を通行するバスが横断歩行者を安全に横断させるために停車すれば、乗客等に与えるインパクトは大きい。プロのドライバーが率先して交通ルールを遵守すれば効果は大きいと思う。
- 自動車等の運転のプロと覚書を締結することにより、『周りが守らないから自分も守らない』という風潮を一掃しようとする取組であるから、目の付け所を評価する。『周りはどうあれ、自分はきちんと交通ルールを遵守する』という県民性が醸成されることを期待する。
- 以前から歩行者優先意識が低い県民性がうかがえることから、このような形で各ドライバーのリーダーに率先して歩行者優先を体現してもらうことは、大きな効果を期待できる。各種メディアで県民に強力に広報してほしい。

5 第78期初任科（長期課程）の卒業式について

本年1月29日に行われる、第78期初任科（長期課程）の卒業式について報告があった。